

実施計画事業名		農業経営安定化事業		評価対象年度	平成 23 年度		
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化				
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます				
	関連施策						
現状と課題	離農跡地等の遊休農地、耕作放棄地の防止及び生産性向上のための農地の集団化、担い手への農地の集約化を図るうえで、関係者間における農地情報の共有化が求められている。						
目的	農業経営の安定化						
施策展開の	<p>○農地情報の一元的把握を図り、農用地の利用集積の総合調整を行ううえで、最新の農地情報の保守・更新を行う。</p> <p>○良質な粗飼料の確保を図るための土壌改良剤(ライムケーキ)の購入費用の一部助成とデントコーン栽培に係る種代を助成する。</p>						
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度
	農家一戸あたりの生産乳量		トン	目標	400	400	400
説明	各年度生産乳量 / 酪農経営農家戸数(3月31日現在)			実績	422	463	
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度
	農業関係利子補給交付対象者数		人	目標	75	75	75
	説明	同補給金の交付を受けた人の数			実績	68	63
	畜産関係利子補給交付対象者数		人	目標	5	5	5
	説明	同補給金の交付を受けた人の数			実績	20	21
	家畜自衛防疫事業補助金対象頭数		頭	目標	16,500	16,500	16,500
	説明	同補助金の交付を受け、各種予防接種を行なった牛の頭数			実績	13,384	12,508
農業経営安定化事業補助金交付対象者数		人	目標	45	45	45	
説明	同補助金の交付を受けた人の数(デントコーン栽培+ライムケーキ購入)			実績	19	21	
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	15,849	45,332	17,825		
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	2,800	7,930	2,739		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	11,751	0		
	一般財源	千円	13,049	25,651	15,086		
	この事業にかかる職員数	人/年	1.25	1.19	1.19		
	人件費(B)	千円	8,489	8,275	8,275		
計(A+B)	千円	24,338	53,607	26,100			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> 平成22年度から始めた土壌改良材(ライムケーキ)の購入とデントコーン栽培への助成事業であるが、平成23年度の実績は、土壌改良材助成事業で助成戸数が前年度比で1戸増の16戸、散布量210トンの増の840トンであり、デントコーン栽培助成事業は助成戸数が前年度比1戸増の5戸、栽培面積は25ha増の121haであった。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> デントコーン栽培への助成事業については、農業試験場や農業改良普及センターなど関係機関と連携を図り、冷涼な気温に適した品種の改良や適切な肥培管理の指導等により収量増を図りながら、導入が促進されるよう取り組む必要がある。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 生乳の需要動向は下落みであり、また配合飼料等の高騰やTPPへの参加の動きなど、酪農畜産経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、国の制度なども活用しながら今後も必要な対策を講じていく。また、平成24年度は、稚内市農業振興地域整備計画の見直しを行い、農地の適正管理に努めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--